

2020年6月22日

2019年度第7回運営会議議事録

開催日時：2020年6月22日14:00～17:00

開催場所：協会サロン

参加者：嘉規会長、小田原・田邊・片桐副会長、梁瀬・浦和部会長、
高橋国際交流課課長

配布資料

1. 運営会議次第
2. 日本語教室の再開方法の検討
3. 外国人留学生を「食料」で支援企画案
4. 協会の対応方法、Zoom等の使い方

1. 総会等について

- ・日程 理事会 7月28日(火)10時30分～12時 商工会議所501会議室
総会 8月17日(月)14時～16時 中央公民館 講堂
資料送付 8月上旬
- ・議案 4月に運営会議で決定したもので審議。補正予算が必要な場合は修正のうえ対応する。
- ・出席者 名簿の提出が必要な為、出席会員は出席する旨の事前連絡と当日の検温の報告を総会資料送付時に依頼する。
検温を忘れた会員には、当日非接触型体温計が入手できなければ接触型の体温計で検温を行う。

2. 今後の活動について

【日本語教室】

- ・開始可能時期について
9月に入って日本語教室との打合せ開始、早ければ10月から再開
二和公民館が建替えの為使用できない。移動先が決まったら対応
が必要となる。(三咲公民館を仮押さえ済み)
今後再び感染拡大した場合には、また閉鎖する。
協会からの提案内容
- ・教室型の授業とオンライン授業を併用する。

オンラインに関しては、まずできるボランティアを募り、そのグループから始める。

・「教室型」の授業について（別途基準、レイアウト例を添付）

公民館から指定されている1部屋あたりの人数は必ず守る

使える部屋の増加は難しい。

参加者は事前に登録した人のみとする。（当日の受け入れはしない）

現在の島を作って、教える方式は不可。講義スタイルで。

長机1つに一人を目安とする。一人のボランティアに5～6人が限度

現在の人数が1回でできない場合は、2部制も考える。

飲食、休み時間の雑談は無くす。

各グループのボランティア、生徒の名簿を作り定員内の確認ができるようにする。

・「オンライン型」の授業について

ZOOM等でレベル毎の曜日・時間・定員等を指定して学習者が自分で申し込む方法を取る。（管理者は専任者をおく）

1グループの定員は10名までとする。

1授業は50分とする。

新規受付は、ホームページ等で受け付ける。

教室に来た場合は定員があるので、受付だけを行い、改めて授業日を連絡する。

市役所に来た場合もインターネット等での申し込み方法をお知らせする。

申し込みはホームページ上に予約用の1年分のカレンダーを設定し、管理者が管理する。即対応する為に、渡辺氏以外に管理者を指定し、早急にホームページの運用方法を渡辺氏より指導を受ける。

管理をボランティアは行わない。

管理をサンエイ航空に委託する。詳細を今週中に詰め、条件が合えば委託する事とする。入金管理等も行う

会費・参加費の支払いは従来通りスマートピットを使用して行う。

【地球っ子】

- ・学校に対するサポートが7月から始まる。
- ・ボランティアの方々の意識の問題はあるが、再開する事ができる。

【にほんご広場】

スカイプを使用した活動を開始している。

協会サロンを使用し、密にならない範囲での活動は可能。

【相談窓口】

- ・1日2名のボランティアを限度とする。
- ・月金以外の日も、参加可能な方には参加していただき、総合相談窓口と協力して活動して欲しい。
- ・会員の中で、新たに手伝ってくれる方がいればお願いします。
- ・部屋での食事ができない為、昼食の弁当は出さない。
- ・9月からGoogleカレンダー等を利用し、1年分の計画を立てる。
- ・カレンダーは交流課で立ち上げ、その後は1日2名の空きを各自で埋める。
- ・短時間での活動も可能とする。

【国際理解セミナー】

- ・きららホールでの大人数の集まりは出来なくなったので、今年度のセミナーは中止とする。

【インターナショナルフェスティバル】

- ・多くの人が集るため、今年度は中止する。
- ・公園協会へは交流課から連絡をお願いします。

【災害時外国人支援】

- ・今年度は宿泊訓練を含め中止とする。

【ようこそ】

- ・ボランティアが集まらない為、活動できない。
- ・市へ返還すると交付金の減額となる。
- ・外部へ委託し、続けたい。サンエイ航空で対応できないか、検討して可能であれば、委託する。

【協会ニュース】

- ・役員が中心となって発行する
- ・次号は総会終了後、総会について

【外国語教室】

- ・英語教室で7名の方が1月～2月に6回レッスンをを行い、中断している。残りの4回をオンラインへ移行し、できない人には返金等の対応を検討する。

3. 新規事業について

【外国人留学生に対する食糧支援】

- ・寄付により、食料を調達し、月1回3か月程度をめぐりに行う。
- ・対象は船橋市内の2つの日本語学校の生徒とベトナム人の団体約800人
- ・船橋商工会議所を通し、企業・ロータリークラブなどに働きかける。
- ・米、缶詰等を主とし、市の非常食や企業からの食品も受け入れる。
マスクは取り扱わない。
- ・寄付の目標は150万円とする。
- ・会長名の依頼書を早急に作成する。遅くなつては意味がない。総会資料送付の際依頼書も送る。
- ・できれば7月から
- ・フナショク等から仕入れ、仕入れ先には米であれば1kgずつ袋詰めをして、日本語学校等へ配送をしてもらう。
- ・配布物の内容は日本語学校等と打ち合わせて決める。
- ・学生への配布は、日本語学校等で行ってもらう。

4. その他

今年度の会費納入会員は現在の所少ない。

以上